

令和6年度第2回金谷区地域協議会 次 第

日時：令和6年6月26日（水）午後6時30分～
会場：福祉交流プラザ 2階 第1会議室

- 1 開会

- 2 協議事項
(1)自主的審議事項について

- 3 事務連絡

- 4 閉会

【今後の日程】

第3回金谷区地域協議会：7月24日（水）午後6時30分～ 福祉交流プラザ
第4回金谷区地域協議会：8月28日（水）午後6時30分～ 福祉交流プラザ

1 会議開催回数

委員の任期 令和2年4月29日～令和6年4月28日

年度	総会議数	内訳：種類別(協議・報告回数)[延べ]				
		自主的 審議事項	地域課題の 洗い出し	諮問	行政からの 報告	地域活動 支援事業
令和2年度	11回	4回	4回	0回	2回	10回
令和3年度	11回	5回	0回	0回	2回	8回
令和4年度	11回	2回	0回	6回	5回	4回
令和5年度	9回	5回	0回	0回	4回	1回
合計	42回	16回	4回	6回	13回	23回

※このほか「地域活性化の方向性」の作成に向けた協議を令和4年度に7回、令和5年度に3回行った。

2 自主的審議事項

自主的審議事項とは、地域の課題などを議題に地域協議会が自主的に話し合うことです。話し合いの結果、地域で対応できないものは、市政運営の中で実現を求めるため市に意見書として提出することもできます。

【第4期の自主的審議事項】・・・1件

○金谷区の防災機能強化について（審議期間：令和2年9月30日～令和5年12月19日）

※詳細は別紙1参照

3 諮問審議

諮問審議は、区内の重要な公共施設の設置・廃止などについて、市から意見を求められたとき、「住民生活にどのような影響があるか」という観点で話し合うことです。話し合いの結論は、市長へ返す役割も併せてもっています。

【第4期の諮問事項】・・・2件

- ・金谷地区公民館の移転について（令和4年4月15日付諮問）
- ・新市建設計画の変更について（令和4年8月9日付諮問）

※詳細は別紙2参照

4 地域活動支援事業の審査・採択

地域協議会は、課題解決に向け優先すべき事業等を協議して採択方針や審査方法を定め、提案された事業の審査・採択を行いました。

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算	8,500千円	8,500千円	8,500千円
提案件数(補助希望金額)	11件(8,010千円)	20件(10,357千円)	14件(4,304千円)
採択件数(採択額)	11件(8,010千円)	17件(6,418千円)	14件(4,270千円)

5 「地域活性化の方向性」の作成

「地域活性化の方向性」とは、地域の活力向上に向けた議論を進めるにあたり、地域協議会委員間で認識を共有し、さらに市との認識の共有を図るため、地域において特に重視したいこと、大切にしたいことをタイトル及び構成要素でまとめたものです。

※「地域活性化の方向性」は別紙3のとおり

6 委員研修

自主的審議事項の協議の参考にするため、講師を招いて勉強会を実施しました。

実施年月日	テーマ	概要
令和3年 2月9日	防災士の役割と防災士から見た金谷区の課題について	上越市防災士の会長から防災士の役割や活動状況、地域の特性を知っておくことの大切さ、避難所開設などに携わる関係者の連携の重要性などを学び、意見交換を行った。

7 出張地域協議会

多くの人から会議を傍聴していただき、地域協議会について知ってもらうほか、地域の人達が普段感じている課題などを把握するために、各町内の町内会館に出張して意見交換会を開催しました。

開催年月日	会場	傍聴人
令和4年4月27日	向橋町内会館	11人
令和5年11月1日	昭和町2丁目町内会館	9人



向橋町内会館



昭和町2丁目町内会館

8 地域協議会だよりの発行

地域協議会の活動状況を地域の皆さんに広く周知するため、地域協議会だよりを発行し全戸配布しました。

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
発行回数	4回	4回	4回	4回

【令和5年度の主な掲載記事】

- ・「地域活性化の方向性」の完成
- ・令和5年度「地域独自の予算」活用事業の紹介
- ・行政からの報告事項（金谷地区公民館移転整備の進捗状況、ヨーデル金谷の新しい指定管理者での運営開始など）
- ・地域協議会活動報告会のお知らせ

自主的審議事項「金谷区の防災機能強化について」

(審議期間：令和2年9月30日～令和5年12月19日)

1 概要

全国で頻発する自然災害の発生状況を踏まえ、災害に対する日ごろの備えが重要と感じている。いざという時の地域住民の安全・安心を図るため、地域における避難所の設備等の充実や自助・共助による防災意識の向上など、金谷区における防災機能の強化について検討するもの。

2 協議経過

【自主的審議事項の提案】(令和2年5月29日)

委員から「金谷区の防災機能強化」に係る「自主的審議に係る提案書」が提出された。

【令和2年度第6回地域協議会】(令和2年9月30日)

委員間の意見交換を経て、提案のあった「金谷区の防災機能強化について」を自主的審議事項とすることに決定した。

【令和2年度第7回地域協議会】(令和2年10月28日)

避難所の備蓄品や設備の充実を図り、防災意識を向上するにはどう取り組めばよいか、委員が2班のグループに分かれて協議し、まずは避難所の現状を把握することから取り組むこととした。

【委員勉強会】(令和3年2月9日)

上越市防災士会の会長を講師に招き、勉強会を実施した。防災士の役割や活動状況、普段から地域の特性を知っておくことの大切さ、避難訓練や避難所開設に携わる関係者の連携の重要性などを学ぶとともに講師と意見交換を行った。

【令和3年度第4回地域協議会】(令和3年6月23日)

令和4年度に防災訓練を実施する町内会のうち一つをモデル地区として選定し、地域協議会委員と町内会の役員や防災士などが話し合う機会を設けて「何が必要か」「何をすればよいか」を協議し、実際に取り組んでもらう。モデル地区の選定や町内会の役員、防災士との話し合いの企画・実行のため、委員から選抜した検討チームを設置して進めていくこととした。

【令和3年度第5回地域協議会】(令和3年8月18日)

検討チームのメンバーとなる4人の委員氏名を報告し、了承を得た。

【検討チーム】(令和3年10月27日)

市民安全課が各町内会を対象に実施している「防災活動の実態に関する調査」の調査項目を確認し、防災訓練に関する課題等を把握するため必要な内容について協議した。

【検討チーム】（令和3年11月24日）

「防災活動の実態に関する調査」（5年分の金谷区のみ）結果を確認した。今後、調査結果を踏まえ「住民意識を向上させるにはどのようにしたらよいか」を各委員が検討し、協議することとした。

【検討チーム】（令和4年1月26日）

各委員が考えた住民意識向上に関する取組について協議した。地域協議会が参画する防災訓練のモデルは、複数の町内会が合同で行う地区とし、そこと連携して訓練に関するアイデアなどを提案することを決定した。

【検討チーム】（令和4年3月26日）

大貫4町内会の合同防災訓練をモデル地区とするとともに打合せに参加し、起震車体験、非常食試食、段ボールベッド組立体験等のイベントを盛り込んだ防災訓練を提案した。今後の準備に係る打合せにも参加することとした。

【合同防災訓練の実施】（令和4年8月28日）

検討チームのメンバーが参画し体験型の合同防災訓練を実施した。金谷区内の町内会長を招いた見学会も開催し、これまでの検討チームの活動を報告したほか、防災に関するアンケート調査を行った。

【検討チーム】（令和4年9月28日）

合同防災訓練見学会のアンケート結果を基に今後の取組について協議した。防災資機材やアイデアの不足、訓練内容のマンネリ化で悩む町内会を支援する方策を検討していくこととした。

【町内会に対する支援】（令和4年11月21日）

今後の防災活動の参考としていただくため、金谷区内の全町内会に対してこれまでの検討チームの活動報告資料と合同防災訓練見学会のアンケート結果を送付した。

【町内会に対する防災訓練等に関するチラシの送付】（令和5年5月23日）

今後の防災訓練等の計画立案に役立てていただくため、防災関連業者から作成いただいた防災訓練等の内容の提案に関するチラシを金谷区内の全町内会に送付した。今後、各町内会における訓練の実施状況を注視していくこととした。

【令和5年度第7回地域協議会】（令和5年12月19日）

これまでの検討チームの活動を振り返るとともに、町内会における今年度の活動状況を把握し、取組に一定の区切りがついたことから自主的審議事項を終了することを決定した。

諮問事項の審議

【参考】令和6年2月28日 別紙2

件名	市から意見を求められた諮問内容（要旨）	地域協議会の答申		答申についての市の回答
		判断	附帯意見等	
<p>金谷地区公民館の移転について (令和4年4月15日付諮問)</p>	<p>1 諮問理由 高田区に所在するとともに、施設の老朽化が進行している金谷地区公民館を、金谷区内に移転することに関し、金谷区の住民の生活に及ぼす影響という観点から、意見を求めるもの。</p> <p>2 整備の概要 (1) 移転予定地 大貫二丁目地内 (ヨーデル金谷南側市有地) (2) 敷地面積 4,069.95 m² (3) 延床面積 約550 m² (4) 構造 木造平屋建</p> <p>3 移転予定時期 令和7年度</p>	<p>支障なし</p>	<p>【附帯意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設予定地は、積雪量が多いことから、大雪の際にも利用に支障がないようにしてください。 令和5年度頃に着工し、一日も早く供用開始となるようにしてください。 災害時には避難所としても利用可能な公民館となるようにしてください。 近隣に学校が複数存在することから、大人だけでなく子どもも利用しやすい公民館となるようにしてください。 今後も地域住民から広く意見を聞き、よりよい公民館となるようにしてください。 <p>(令和4年5月17日付答申)</p>	<p>諮問のとおり、金谷地区公民館を金谷区内に移転することとし、所要の手続きを進めます。</p> <p>なお、附帯意見に関しまして、今年度から設計業務に取り組む中で、今後も地域住民や利用者等のご意見を伺いながら、様々な世代の方が利用しやすく積雪への対応も考慮した施設となるよう意を用いてまいりますとともに、早期に供用開始できるよう進めてまいります。</p> <p>(令和4年5月31日付回答)</p>
<p>新市建設計画の変更について (令和4年8月9日付諮問)</p>	<p>1 諮問理由 新市建設計画に登載した事業で、令和5年度以降に合併特例債の活用が見込まれるものがあることを受け、新市建設計画の変更を行うに当たり、金谷区の住民の生活に及ぼす影響という観点から、意見を求めるもの。</p> <p>2 変更内容 (1) 計画期間の変更 合併特例債の発行期限に合わせ、計画期間の終期を令和4年度から令和11年度まで7年間延長する。 (2) 統計データの更新（一部） 延長後の計画期間を含む、人口の将来見通しに関するデータを最新の数値に更新する。</p>	<p>支障なし</p>	<p>なし</p> <p>(令和4年9月29日付答申)</p>	<p>新市建設計画の変更について、計画を変更する手続きを進めることとします。</p> <p>今後、パブリックコメント、県との法定の協議を経て、令和5年上越市議会3月定例会に議案を提出する予定です。</p> <p>(令和4年11月10日付回答)</p>

金谷区における「地域活性化の方向性」

《金谷区の地域活性化に向けて》

金谷区のシンボル「金谷山」を中心とした自然・歴史・文化をいかし、人・アイデア・活動が「つながる」地域を目指します。

○構成要素

- | |
|--|
| ・ 地域住民主体の環境整備活動・史跡保存活動・各種イベントを推進し、さらには持続・継続を目指します。 |
| ・ 様々な活動をしている地域や団体の情報を広く発信し、地域住民による文化活動や交流活動の活発化を目指します。 |
| ・ 新しい金谷地区公民館を中心に、更なる交流拡大や広域的な団体間のネットワーク化を目指します。 |
| ・ 交通の要所である山麓線をいかし、市街地から中山間地まで「つながる」金谷区を目指します。 |

金谷区地域協議会との意見交換について

金谷区の地域活性化に向けた取り組み、4つの構成要素から ヨーデル金谷とのかかわりや(株)ミーナハライペとしてできること(やりたいこと)を【案として】以下にまとめてみました。

○様々な要素が盛り込まれた「構成要素」の目標達成には、老若男女問わず今まで地域活動に関わったことがない方でも参加しやすい仕組みや取り組み(イベント)などが重要と思い、そのためにヨーデル金谷の施設(立地・外観・集客・収益・リフレッシュビレッジ事業)をどのように活かすことが良いのかを考えました。

◆提案(夢のようなことですが・・・)

○大きな目標

金谷地区公民館／ヨーデル金谷を中心とした「手作り公園」造成の提案。

※手作り公園のキーワード＝花・ベンチ・散歩道・集う場・休憩・祭りの会場・・・等

※子供会開催や祭り神輿の立ち寄り場所など子ども世代から親しめるような公園へ。

○公園造成＝花植え、草刈りなどの作業をボランティア活動として広く参加募集する

※収益事業でもあるヨーデル金谷が様々なアイデアの「動力機関」として一助となること。

金谷山の活性化⇒ヨーデル金谷の収益向上⇒費用の一部負担やボランティア活動の懇親会開催。子供会や祭り会場として施設を活用⇒さらなる金谷山の活性化。

※地域の代表者である方々のお知恵を借り、公園作りが「地域活性化活動」の認知や意識浸透を即すシンボルとなれば目標達成のための効果がより見込めるのではないか。

○今年度中にできる具体的な取り組み

※ヨーデル金谷のパンフレット作製。そこに地域の「観光マップ」を取り入れたい。

情報発信・データ納品(PDF)でこまめに印刷／更新が容易・イラストで親しみを。

◎金谷地域歴史観光マップの情報(写真/文章)を参考にすることのご許可を頂きたい。

※レルヒ少佐やスキーにまつわる昔の写真を館内展示(少しずつ展示中)地域写真随時募集

※12月に地域子供クリスマス会の実施

○来年度予定してる取り組み

※様々なフリーランス事業者を集めたイベントの開催(2024年6月予定)

※農産物の無人販売(現在は2023年度産の新米を実験販売中)／協力者募集中

※ヨーデル金谷の植栽デザインをプロに委託(手作り公園造成の一環)／但し財務状況次第。

令和6年3月21日

株式会社ミーナハライペ
代表取締役 浅見 実 様

金谷区地域協議会
会長 村田 敏昭

意見交換会での御提案に係る検討状況について（報告）

時下ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、過日開催いたしました当地域協議会との意見交換会で御社からいただいた御提案について、意見交換会後の地域協議会において協議しましたので、下記のとおり現在の審議状況を御報告いたします。

4月28日をもって現委員の任期が満了となりますが、引き続き当地域協議会の活動に御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 意見交換会後の地域協議会での主な意見

- ・BMX場の運営に迷惑をかけない範囲で、BMXコースへのエントランスエリアの一部（池の南側の道と芝生部分）を一般住民が入れるよう開放できないか。
- ・現在、BMX 場入口トイレ脇に設置してある鎖の位置を30メートルほど西側に移せないか。
- ・手作り公園のエリアをトイレ西側の芝生と池の南側のほとりとし、椅子やテーブルを置いて利用してもらえばよいのではないか。
- ・行政に任せるのではなく、できるだけ地域住民が関わって手作り公園の実現に向けて前進していくことが基本方針である。
- ・手作り公園として構想するエリアを現地に赴いて確定させるべきである。
- ・公園の構想を練り上げたうえで引き続き市への意見書提出も視野に入れて検討してもよいのではないか。

2 今後に向けた検討事項

BMX コースへのエントランスエリアの一部開放及びトイレ脇の鎖の移設については、市観光振興課から「市及びBMX 関係団体との協議は必要となるが、運営も含め地域が主体となり活動することについては、市として否定するものではない。」との前向きな所見を得ました。

当協議会としては、以下の検討事項を次期の委員に引き継ぐこととします。

- ・委員によるBMX コースへのエントランスエリア（池の南側）の現地視察を実施し、手作り公園の構想等の検討材料とする。
- ・手作り公園の管理・運営体制等について検討する。
- ・ヨーデル金谷周辺の手作り公園化に向けて、市やBMX 関係団体と協議を行う。
- ・市への意見書の提出を見据えて検討する。

上越市総合政策部地域政策課

南部まちづくりセンター

上越市本町3丁目2番26号 雁木通りプラザ2階

電話：522-8831 FAX：522-8832

令和6年5月23日

金谷区地域協議会自主的審議に係る提案書

金谷区地域協議会

会長 村田 敏昭 様

提案者名 滝澤 隆雄

下記事項について、上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、審議するよう提案します。

記

審議する事項	1. 空き家活用先進地・柿崎区の取り組み研修について 2. 金谷地区の空き家実態把握について
内 容	1. 提案理由 全国で900万戸、上越市で3000戸の空き家が有り、それがどんどん増加している。この金谷区でも、活用されていない空き家が多数存在する。何年も放置された挙句、特定空き家に指定され、業者にも見放され、何とかして欲しいと相談されたことも有る。空き家になったすぐであれば、売ったり、貸したりできた物件も、経年劣化が進むと、解体しか方法が無くなる。解体費は年々増加し、1棟平均200万円～300万円、一方地価はどんどん下がり、解体費以上で売れないケースも多数存在する。 空き家活用は時間との勝負。しかし統計では、70%以上の方々が空き家を所有した時に何もしないし、活用方法もわからない。相続した物件では、故人の所有物の倉庫となり、遠隔地に住む相続人の意識からは、消えてします。空き家になったすぐに、所有者に活用に向けた一歩を踏み出して頂くことが、空き家問題解決の鍵と考える。 2. 課題解決の方策 (1) 柿崎区の取組研修会の実施 まず、任命式でも紹介された柿崎区での空き家対策をもっと詳しく知るため、研修会を実施したい。金谷区で取り組めるものは、柿崎区の実践を参考に、そのままこの地区にも導入したい。 (2) 金谷区空き家の実態把握 市や町内会と協力して、金谷区空き家の実態把握を行いたい。市は把握している空き家の所有者に連絡を取り、地域に情報提供可能かどうかを聞いて欲しい。町内会は、できれば空き家になる前から、防災上の観点からも、所有者以外の連絡先も把握して欲しい。